

## 比謝川行政事務組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 実施状況（2022 年度実績）

### 1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

比謝川行政事務組合の事務・事業により排出された 2022 年度の温室効果ガス排出量は、11,940 t-CO<sub>2</sub> で、基準年度（2017 年度）に比べ 730t-CO<sub>2</sub> 増加しました。

増加した要因は、表 2 に示す一般廃棄物処理施設からの排出量の増加で、総排出量の 77%を占めるごみの焼却によるものとなっており、もえるごみに含まれるビニールやゴム、合成樹脂などのプラスチック系ごみの焼却による影響が考えられます。

**表 1 基準年度との比較**

区 分	排出量（単位 t-CO <sub>2</sub> ）		削減量（削減率）
	基準年度(2017 年度)	2022 年度	
温室効果ガス	11,210	11,940	730 (6.5%)

### 2 比謝川行政事務組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

**表 2 2022 年度施設毎の温室効果ガス排出量**

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO <sub>2</sub> ）		
		基準年度 2017 年度	2022 年度	比較
1	一般廃棄物処理施設	10,518	11,319	801
2	一般廃棄物最終処分場	100	106	6
3	ニライ消防本部	591	514	△77
4	事務局	1	1	0
	合 計	11,210	11,940	730

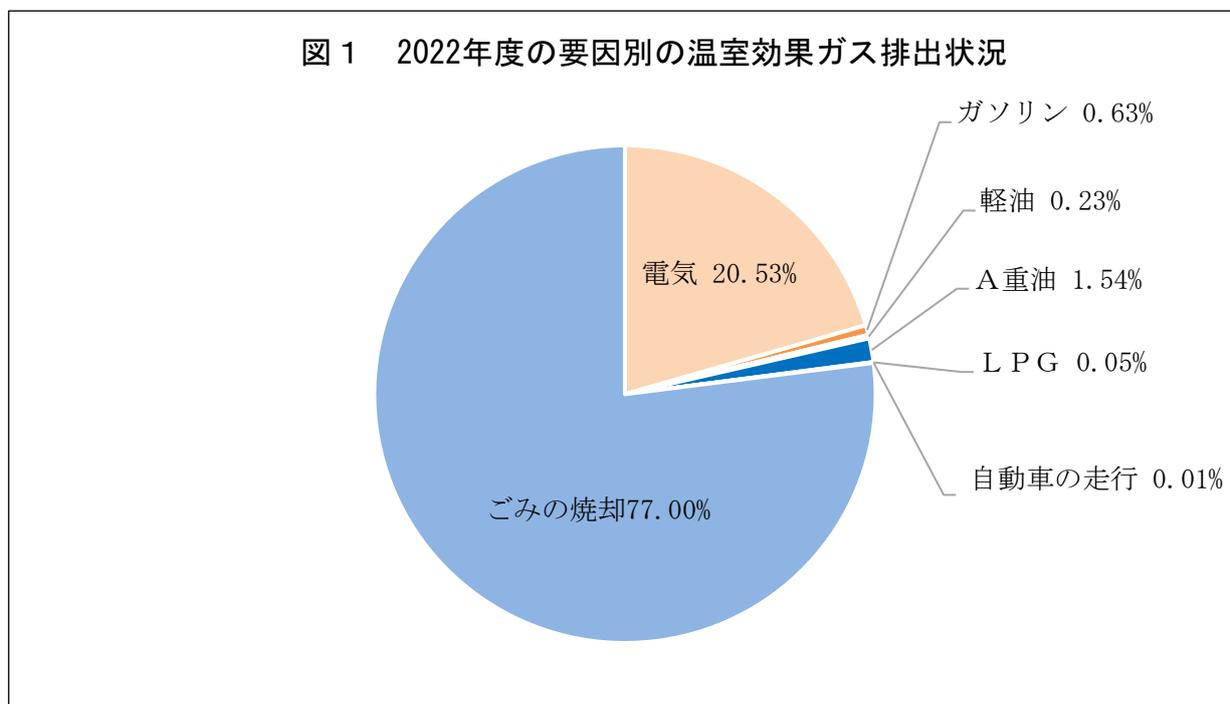
### 3 要因別の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の77%を占め、次いで電力使用によるものが20.53%となっています。

表3 2022年度要因別の温室効果ガス排出状況

	電力	ガソリン	軽油	A重油	LPG	自動車の 走行	ごみの焼却	
使用量	3,187,721	32,191	10,855	67,947	892.4	182,942	15,731 総焼却量	3,223 プラスチック
	kWh	L	L	L	m <sup>3</sup>	km	t	t
排出係数	0.000769	0.00232	0.00258	0.00271	0.00655	※	0.000077	2.765
							0.0000539	
	t-CO <sub>2</sub> /kWh	t-CO <sub>2</sub> /L	t-CO <sub>2</sub> /L	t-CO <sub>2</sub> /L	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	t-CH <sub>4</sub> /km t-N <sub>2</sub> O/km	t-CH <sub>4</sub> /t t-N <sub>2</sub> O/t	t-CO <sub>2</sub> /t
温室効果 ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	2,451	75	28	184	6	1.77	283.0	8,912
割合 (%)	20.53	0.63	0.23	1.54	0.05	0.02	77.00	

図1 2022年度の要因別の温室効果ガス排出状況



#### 4 基準年度（2017年度）からの温室効果ガス排出状況の推移

基準年度と比較して6.5%増加、2021年度比較では19.9%温室効果ガス排出量は増加した。

表4 温室効果ガス排出量の推移

区 分	排出量（単位 t-CO2）					
	基準年度 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
温室効果ガス	11,210	10,923	12,511	11,432	9,958	11,940
基準年度比較(%)	-	△2.5	11.6	1.9	△11.2	6.5
前年度比較(%)	-	△2.5	14.5	△8.6	△12.9	19.9

表5 施設毎の温室効果ガス排出量の推移

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO2）					
		基準年度 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1	一般廃棄物処理施設	10,518	10,234	11,858	10,779	9,337	11,319
2	一般廃棄物最終処分場	100	102	96	100	97	106
3	ニライ消防本部	591	586	556	552	523	514
4	事務局	1	1	1	1	1	1
	合 計	11,210	10,923	12,511	11,432	9,958	11,940

